

授業実践（各教科・自立活動）

校種(学年)	中学部
教科	国語
単元	「主語、述語、修飾語を使ってA Iで絵を描こう！」

【単元のねらい】
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい内容を、相手に正しく伝えることができる。 ・主語、述語、修飾語をそれぞれ適切に使用し、文を作ることができる。

【授業の概要・工夫点など】
<ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe firefly(生成A I)を用いて授業を進めた <ol style="list-style-type: none"> ①プリントの穴埋め学習 ②穴埋め学習の答えをプロンプトとして入力して画像を生成 ③見本と同じ画像が生成されるか確認 ④プロンプトに含まれる主語・述語・修飾語を確認

【教材の写真】	【教材の写真】
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>（か）</p> <p>（ ）が（サ）</p> <p>（ ）。</p> <p>（ ）を</p> </div>  <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>☆例題</p> <p>見本とそっくりな画像を生成しながら 主語と述語と修飾語を確認しよう！</p> <p>見本とそっくりな画像を生成せよ。</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>（は）</p> <p>（ ）に 乗った（ ）</p> <p>（ ）が</p> <p>（ ）を（は）</p> <p>（ ）。</p> </div>  <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>問題④</p> <p>見本とそっくりな画像を生成しながら 主語と述語と修飾語を確認しよう！</p> <p>見本とそっくりな画像を生成せよ。</p> </div> </div>

【児童・生徒の変容など】
<ul style="list-style-type: none"> ・入力した文章が画像として生成され、目で見てわかるので理解しやすかったように感じた。 ・「この言葉をいれたら写真はどうなるんだろう」といった発言がでるなど、楽しみながら学習に取り組む様子がみられた。

授業実践（各教科・自立活動）

校種(学年)	高等部
教科	自立活動
単元	「手作りモルックをしよう」
自立活動の区分・項目	人間関係の形成 (4)集団への参加の基礎に関すること 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること

【単元のねらい】

- ・ 集団を意識して自分の役割を果たすことができる

【授業の概要・工夫点など】

- ・ 3人1チームで試合を行った。
- ・ 事前に各チームで「投げる人」「記録係」「得点読み係」を決めておく

※モルックの簡単な説明

▲複数本倒れた場合は「倒れた本数＝点数」 ▲1本だけ倒れた場合は「倒れた数字＝点数」

- ・ 足し算をしていき、いずれかのチームが50点を先取したらゲーム終了。50点を超えると25点に戻る

【教材の写真】



【スコアシート】

モルック ぴったり てん 点をめざせ!!!

役割 口：投げる ★：記録 ○：得点読み

投げる順番→	チーム			合計得点
	1番	2番	3番	
名前				
1投目		★	○	
2投目	○		★	
3投目	★	○		
4投目		★	○	
5投目	○		★	
6投目	★	○		
7投目		★	○	
8投目	○		★	
9投目	★	○		
10投目		★	○	

【児童・生徒の変容など】

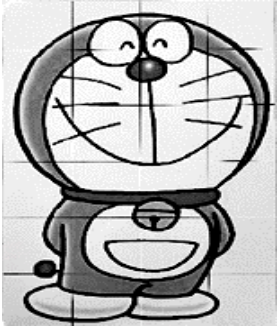
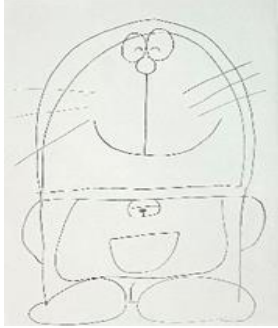
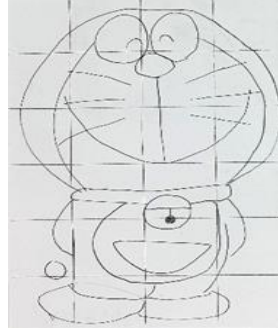
- ・ 係の役割を毎時間確認することで、スムーズに取り組むことができた
- ・ 授業回数を重ねることでチームで話し合う場面が増え、狙って投げる技術も向上した

授業実践（各教科・自立活動）

校種(学年)	高等部
教科	美術
単元	格子変換による描写及び、クロッキー

【単元のねらい】
・より正確に形を認識し、自分の作品に生かす

【授業の概要・工夫点など】
<p>① 1枚目は簡単なイラストを見ながら用紙に描きうつす</p> <p>② 2枚目はイラストの画面を6×4＝24個のマス目に分割し、同様に分割線を引いた用紙に、ひとマスずつ形をよく見て描きうつす</p> <p>③ 立体(人物)を見ながら描く(クロッキーなどの課題につなげる)</p>

		
(元のイラスト)	(1枚目)	(2枚目)

【児童・生徒の変容など】
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとマスずつ形を確認しながら描けるので、描きやすくなった ・細部はマス目をさらに分割することでより正確に描くことができた